



川村学園女子大学ニュース

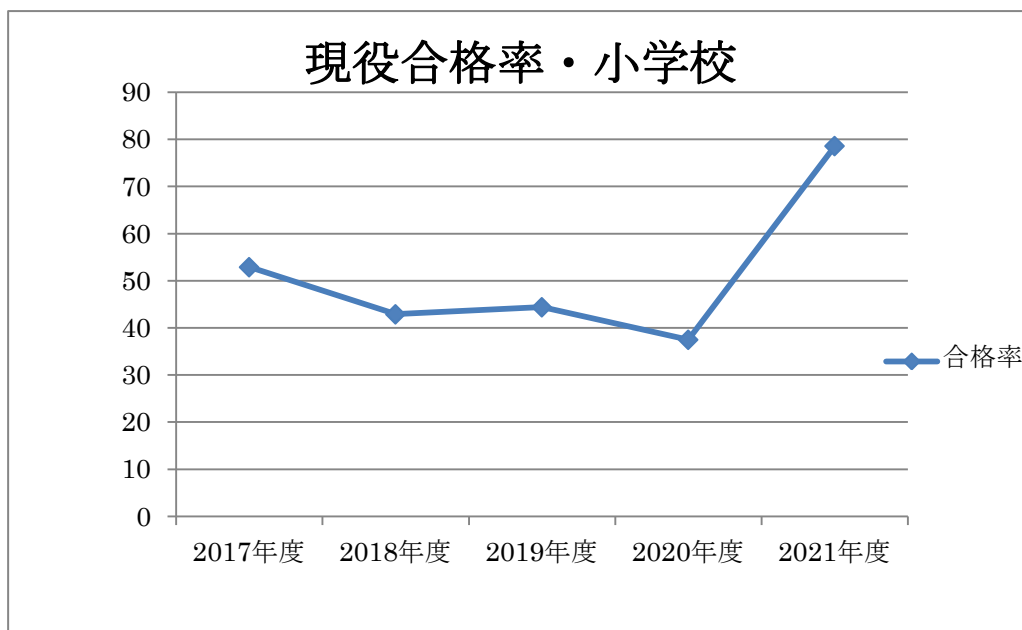
No.2021-9

2021年10月26日

報道機関各位

川村学園女子大学 児童教育学科

川村学園女子大学 児童教育学科 教員採用試験（小学校）の現役合格率大きく飛躍！
2021年度の教員採用試験（小学校）の現役合格率は78.6%でした。それまでの5割前後から大きく飛躍しました（図1）。



（図1）

（2021年度は過去2年間の既卒者10人を含む24人が出願し、22名が2次試験にコマを進めました。1次試験通過率は91.7%になります。）

その理由として以下のことが考えられます。

①3年生からスタート

学生一人ひとりに声をかけ、教員採用試験対策を年間700時間以上行うことを目標に、3年生から本腰を入れて取り組み始めた。

②4年生になってさらに加速

4年生の4月から学科教員の空き時間を活用し、中高の教員希望者も交えて集団面接の練習を続けた。様々なテーマによるディスカッションで、教職に対する思考・表現を磨いていった。

③試験直前まで2次対策

2次対策は、7月の1次試験合格者発表後から2次試験直前まで実施し、模擬授業、個人面接、論作文等を学科教員が実施。特に夏休みに3日間、既卒者も含めて、本番同様の対策に取り組んだ。

④学生主体の試験対策

模擬授業対策は、学生同士で板書計画を作成する方法をとることで、課題を共有しながら取り組むことができ、チーム感覚が高まった。また、論作文が試験科目にある学生には、複数教員がそれぞれ何本もテーマを与え、添削指導を行った。

⑤少人数制を最大限活用

児童教育学科では、少人数制の長所を活かし、教員が一人ひとりの学生に対応したこと、学科全体（学生および教員）のチーム意識が強化されたことが、好結果につながったと思われます。

② 1次試験直前の集団面接対策の様子



③2次試験直前の内海崎学科長の激励の様子



③2次試験直前の個人面接対策の様子



この件に関するお問い合わせは事務部 熊谷 電話 04-7183-0111 までご連絡ください
